



図書館だより 1月号

令和6年1月11日発行 川島中学校・高等学校図書館

新年おめでとうございます



新しい年が始まりました。
今年の干支は甲辰で閏年です。“甲”は、十干の最初で急成長・寛大・発展を、“辰”は、十二支のうち唯一の空想の獣で、激動・形を整える・春をそれぞれ意味し、これらが重なると、春の日差しがあまねく成長を助ける年となるそうです。昨年1年間で蓄積してきたことを一気に花開かせる年としたいものですね。

☆1月は雑誌のリサイクル月刊です☆



図書館で保存期間が過ぎた雑誌を、本日（11日）から希望者に配付します。欲しい雑誌がある人は、図書館へ来てください。先着順とさせていただきます。もう一度、あなたの手元で活用してください！
配付雑誌は次のとおりです。（2023年3月までの雑誌を予定しています。）

- ・アニメージュ
 - ・あわわ
 - ・オレンジページ
 - ・クレアトラベラー
 - ・子供の科学
 - ・ジュニアエラ
 - ・新聞ダイジェスト
 - ・スポーツグラフィックナンバー
 - ・タウン情報トクシマ（タウトク）
 - ・ダヴィンチ
 - ・ニコラ
 - ・日経エンタテインメント！！
 - ・ニュートン
 - ・ファインボイス
 - ・ベストステージ
 - ・ムー
 - ・MOE
- ほか、現代用語の基礎知識、古くなったるるぶなどもありますよ～！

12月の図書館利用について

12月は授業での図書館利用が多く、特に5年生は、11月から引き続き貸出冊数が多くなりました。中学生の貸出も増えてきました！1月も図書館でお待ちしています♪

貸出冊数1位	51HR 58冊
2位	52HR 36冊
3位	31HR 28冊
4位	53HR&12HR 23冊



クラス読書会の感想をご紹介します！Part 2（抜粋しています。）

* ムーンライト・シャドウ 吉本ばなな／著

大切な人を亡くし、絶望の中に迷い込んでいるときの、不思議なうららとの出会いがとても印象的だった。亡くなることは誰にもわからず、突然「死」はやってくる。そんな「死」を受け入れることは難しく、簡単ではない。その人のことを大切に思っていればいるほどつらいと思う。“大切な人の死”、また、うららとの出会いも運命がもたらしたのだと私は感じた。どんなに自分が悲しもうと、時間は限りなく勝手に流されていく。そんな中で、どのように生きるか、さつきのこれからが楽しみだ。心に響いた（残った）一文「戻ってきてほしい。」（51HR女子）

4年という長い時間が一晩にして無になってしまったという、どこにもやりようのない寂しさと喪失感を感じた。いつか突破口が見つかるかと信じて、なんとなく始めたジョギングのルートに、等との待ち合わせ場所だった橋があるのは、心の中で整理し、前を向こうとしても、どうしても思い出や後悔にさいなまれてしまう「私」の心情がよく表れていると思った。前を向こうとするきっかけは、然訪れる。そのきっかけを逃さずに、しっかり心にしまうことが大切だと思った。僕もこの本に出会えたというきっかけを大切に前に進みたいと思う。

心に響いた（残った）一文「私はもうここにはいられない。」（51HR男子）

* 鼻 芥川龍之介／著

気にしていた鼻が短くなったのに、最後は元に戻って、はればれとした気持ちになったのが疑問だった。鼻が長かったときよりも笑われているように感じるのは、自分が気にしていた部分がなくなって、周囲をより意識するようになったからではないかと考えた。禅智内供は傍観者の利己的な考えや行動に気づき、不快に思ったことがあった。当事者でない人は不幸な人には同情し、不幸でなくなると敵意を持つようになるということがそのまま起きたのだと思う。これが、人間の心にはたがいに矛盾した二つの感情があるということにもつながるのだと思った。

心に響いた（残った）一文「人間の心にはたがいに矛盾した二つの感情がある。」（43HR女子）

この作品を読んで、現実でもこのようなことが確かにあると思った。長すぎる鼻をバカにする周囲の人間にも腹が立ったが、その鼻が直ると笑う周囲の人たちには、あまりにもリアリティがあり驚いた。現代文の授業で勉強している羅生門や鼻を読んで、芥川龍之介は人の悪い心を書くのが上手だなと思った。

心に響いた（残った）一文「少し誇張して言えばもう一度その人を同じ不幸に陥れてみたいような気にさえなる。」（43HR女子）

* 芋粥 芥川龍之介／著

人は何か願望があるから強く生きることができるとことを作者は伝えたかったのだと思った。しかし、その願望は、自分で叶えるから良いのであって、他人に叶えられてしまうと一気に価値を失ってしまうというのが、私にも心当たりがあり、現代にも通じる部分がありすごいと思った。

心に響いた（残った）一文「かたじけのうござる。」（53HR女子）

五位の意気地がなく周りからいじめられても何も言い返せない性格に感情移入をして少し辛くなった。憧れや夢は、叶わずに憧れのままの方がいいのかなと思った。1回読んだだけでは、作者の伝えたかったことがわからなかったが、何回か読んでいくうちに、いろいろならえ方があるのかなと思った。好きなら山ほどたくさん食べたと思って、それを現実にするのは違うんだなと学んだ。

心に響いた（残った）一文「かたじけのうござる。」（53HR女子）



本の福袋、用意しました！

図書委員セレクト！



みなさんにおすすめしたい本が入った福袋を用意しました。怖い本、ドキドキする恋愛小説、勉強に役立つ本など、1袋に3～5冊の本が入っています。どんな本が入っているかは、借りてからの楽しみ！自分では選ばない本に出会い、新たな世界が広がるかもしれません。

新年の運だめしに、チャレンジしてみてください。思わぬ大当たりがあるかも！？